

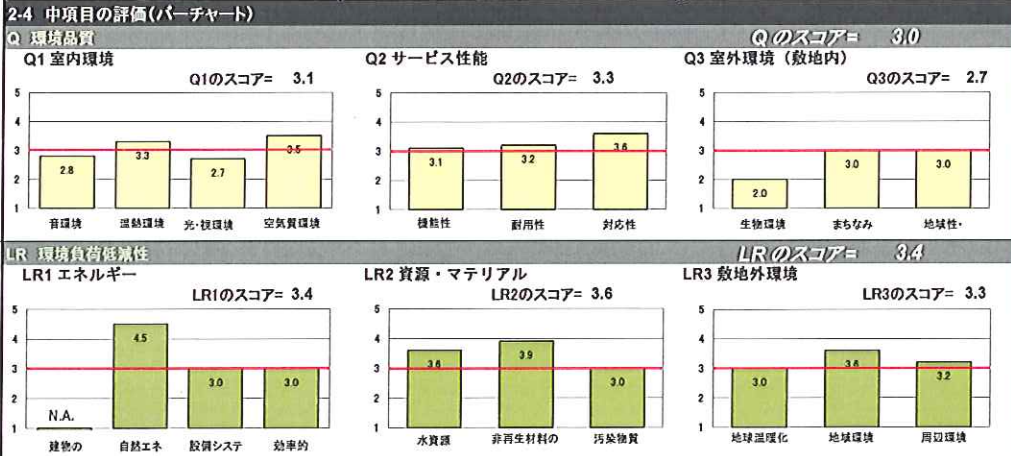
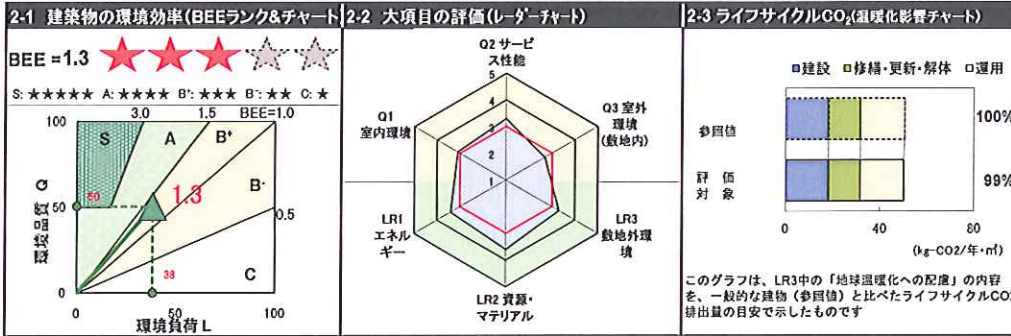
CASBEE とっとり

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(建築版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニッポン高度紙工業株式会社米子工場	階数	地下1F、地上2F
建設地	鳥取県米子市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2012年2月1日
敷地面積	50,000 m ²	作成者	献本 誠
建築面積	7,019 m ²	確認日	2012年2月2日
延床面積	9,780 m ²	確認者	山岡 正洋

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの評価を併録してください



3 設計上の配慮事項		
総合		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・建築、設備一体での良好な作業環境の形成 ・環境配慮技術を積極的に取り込んだ計画		その他
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・トップライトを利用した自然採光の実施 ・建材にF☆☆☆☆を全面的に対応した化学物質汚染対応	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・事務エリア天井高2.8m以上を確保し、ゆとりある空間を確保	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・将来工場計画スペースを含め敷地内の積極的な緑化を実施
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・高効率照明器具の採用 ・トップライト、クールチューブの採用など自然エネルギーの積極的な利用	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・自動水洗、小便器自動洗浄などの採用による節水への配慮 ・ODPOの冷媒の採用	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・夏期卓越風向(北)に対する建物見付面積の配慮 ・高効率照明の利用等による省エネルギー化

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 20点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	5点 / 25点	
敷地内緑化の推進	15点 / 25点	
合計	20点 / 95点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される